

むしのツゴウ ニンゲンのツゴウ

エイゾウ

はじめに

このチョシヨはキホンテキにイチワごとのよみきりである。だから、どこからよむこともカノウだが、やっぱりジケイレツでいきているわけだから、ジケイレツによるチクセキなどがないとはいえない（そのため「キホンテキに」といった）。したがって、そういったジケイレツによるヘンカをもあじわいたいとおもうのであれば、はじめからよむことをおすすめする。

また、ゼンチヨ『アルクカラカンガエル』でロンじたことのシンテンやインヨウがたまにでてくる。くわしくよみたいばあいはそちらのシヨをてにとつていただければとおもう。

ホンチヨはすべてかなガナブン（ひらがなとカタカナのコンゴウブン）でかかれている。ゼンチヨ（シヨバン、ニハン）「かなガナブンによるサンバンをハツコウヨテイである。」は、すべてタンイツのカナブンまたはかなブンで、タ

イヘンよみにくいというカンソウをいただいた。そこで、コンチヨでは、ニシユのカナの コンゴウブンとした。このホウホウによつてタイヘンよみやすくなつたとジフしている。タンジユンにいえば、カンジでかかれるカシヨがカタカナでかかれるというちがいはあるのみである。これによつてななめよみもしやすくなったのではおもう。

イチ

タブン ゲンダイで ゴセンネンまえの くらしかたをしていても、ゴセンネンゴのくらしかたをしていても そのジテンのセキムをはたしていれば ジユウなんだろうけど なかなか セキムをはたすのが むずかしかったりするのだろう。だから、ゴセンネンまえのセイカツへと ギヤクシンカ（ギヤクのシンカ）**●**『アルクカラ カンガエル ハイカ、『ア』とする』**ニヒヤク**）すると タイヘンだったりするのだろう。そういうわけだから せいぜいニセンネンまえとかに しておけばいいかもしれない。

ニ

（アメリカ）ガツシユウコクが「ゲンバク」のケンで せめられるとしたら、

ミンカンジン を セントウに まきこんだということかも知れない。グンジンにあてたのなら、センソウだったから しょうがないけど。ニホンジンも「ヘイがにげられない」センソウ（●『ア』ナナジュウハチ、キュウジュウハチ、ニヒヤクヨン、ニヒヤクサンジュウサン）をしたし、ガツシユウコクも「ミンカンジン」をまきこむセンソウをした。どっちもモンダイだ。

サン

サイキン きにいつているのが ラーユカレーである。カレーに ヨーグルトをまぜたり、ココナツツミルクをまぜたりというのは よくきいたりするが、ラーユをかけてみた。からさがツイカされておいしい。まあ、ギョーザにつかう「シヨウユ」と「ラーユ」をリコンさせて、「ラーユ」をつかうといったところか。わたしは「ギョーザ」をタレなしたべるから カレーにラーユをつかってもつか

いすぎといったこともない。あまつた「シヨウユ」はそばにでもつかおうかと。

ヨン

ニジユウネンくらいまえ シイデイやがケツコウあったものだが、シダイに
すくなくなってきた。だから、あるシイデイをみせでかおうとおもうとクロウ
することがある。ザイコをしぼっているみせもあるので、みせにはいつでもか
いたしいデイがみつからないことがある。それで オンライン（インターネッ
ト）ツウハンで かつたりする。ハンメン、チュウコシイデイやが ふえた。そこ
であたらしめのをかうと たかいので、ふるいのばっかりかつたりする。そ
ういうふるいシイデイをかえるようになったのはよいことかもしれないが、や
つぱり シンサクをききたいとおもう。オンラインでかうのもいいが、みせでか
いたいから フツウのシイデイやが つぶれるとクロウする。

「シイデイがうれなくなった」といわれる。たしかにニジユウネンまえよりかわなくなった。パソコンカンレンのものにケツコウおかねをつかったりするからだ。それでもヨユウがあればかいたいとおもう。みせにないからツウハンでかう。ツウハンでかうからみせにおかなくなる。どちらだろう。

ゴ

サイキンはビデオ「デイブイデイ」がサンビヤクエンくらいでかりられる。デイブイデイがすきなひとにはたまらないだろうが、わたしのすきなオンガクとかおわらいのデイブイデイはあまりおいてなかったりする。だからしようがなくかったりするのだが、そういうモンクをいわなければサンビヤクエンですむ。キュウカのありかたとして、サイキンゴロねをかんがえているので、いいデイブイデイがあればとおもっている。コウホになっているのがホラーである。こむ

ずかしいニンゲンカンケイなどを かんがえずにすむから。

ロク

(おとをならす) ガツキネツ (ガツキずき) というのもこわい。ギターをヨンホンシヨウユウしているが、さらに かいなくなつてしまつたりする。ガツキはかさばるから おいておくと ヘヤがせまくなる。だから あまりかつてはいけないはずだ。しかし、うっているのを ついついみてしまう。ガツキネツというより シヨウヒヨクなのだろうか。しょうがないので、オンラインサイトなどのかいものボタンに せてつくつたにせもののかいものボタン (チュウモンがセイリツしないから、しはらいもしようじない) 『●』『ア』ニヒヤクヨンジュウゴ) だよりである。それをおして ガマンしている。

シチ

あるとき、アイスクリームとおもつてかいものを作したら、ジツはそれがアイスクリームだったことがある。なにがちがうのか。こたえはカンタン、「アイスクリーム」は オンドがたかいと とけてしまう「アイス」、「クリーム」であるが、もうイツポウの「アイスクリーム」は シツオンテイドじゃ とけない。「ひやした」「クリーム」というわけだ。むかし、「アイス」の テンプラがあるとき いたことがあるが、その「アイスクリーム」をつかえば できるんだらう。

ハチ

ビーフジャーキーはすごい。あるキカンにはホゾンができるし、あじもよい。ニホンでは スルメとか ひものがあるが、ニクをつかったものは メイジジダイク

らいから オウベイのギジュツをつかつて つくられるようになったのだろう。チ
ユウゴクなどのチュウカケンでは ホシニクがあるのにである（ドクトクのコウ
シンリヨウをつかつていて、それがすきなひとには わるくないとおもう）。わ
たしがこどものころは おかゆがきらいだったが、おかゆに ホシニクを こまか
くしたものをのせてたべる（ニホンフウでいえば、さけの ほぐしみだろうか）
のは、いまなら いいとおもう。

キュウ

ガイコクにあつて ニホンでは 見ないものというと、コーヒ―あじのアイス
（このばあい、「アイスクリーム」である。）なんかみない。あれはおいしいのだ
が。そのかわり、ニホンでは、マツチャのアイスがあつたりする。これもおしいし
い。ギユウニクがのつかったチュウカそばも ニホンではみかけないが まあそ

れはいいだろう。さきにかたった「ホシニク」もみないきがする（チュウカケンでつくられたニクのちようづめ「オウベイフウにいえばソーセージ」はたまにみかけるが）。チュウカガイなどでうっているのだろうか。

ジユウ

サイキンカンワジテンをひかなくなつた。ホンはケツコウよんでいるが、それほどしらないカンジがでてきたおぼえがない。というと、シュツパンシヤのホウで、「カンジ」をつかうのにセイゲンをかけているのか、となる。だからあるテイドの「カンジ」がわかればほとんどのホンをスンナリよめてしまうのだからとなる。そういうのをきにしないホンというのもおもしろそうだが（わたしのホンは「カンジ」をつかわなすぎでよみにくいらしいが）。

ジユウイチ

「(オウベイでよくたべる)パンキジ(パンのカンセイヒンのてまえのザイリヨウである)のきのみ(たとえば、「くり」とか、「あなのなかのカエル」とかいうリヨウリがある。なんだそれはであるが、ほんものをキタイしてはいけないのかもしれない。カタホウは、「ドーナツ」というやつである。これは、シヤシンをとるときにいう「はい、チーズ。」というかけごえ(●『ア』ヒヤクキユウ)とおなじで、もとがなんだかわからなくなってしまうているイチレイかもしれない。「ドーナツ」は「パンキジのみ」で、「チーズ」は「ポーズ」のことである。

ジユウニ

わたしがかうシイデイといえ、むかしかったことのあるアーティストには
ほかぎられる。たまによさそうなえ（ブックレット）をみつけてはそのシイ
デイはわたしのこのみのものだ。スイテイしてチヨウセンすることがある
が、むかしかったことのあるアーティストのものだけでもソウトウスウえらべ
てしまう。ところで、なんでニホンのアーティストのシイデイはブックレット
のヒヨウシにシヤシンをつかうのだろう。いいえかき（ガカ）がないのか。「え」
だとこのみのものをえらべば、このみのオンガクにあたりたりする。ちかごろ
わたしはシイデイをかうリヨウをおさえているが、オンガクもシゲンだから（ム
ゲンではない）まあダイジにしようとおもっている。

ジユウサン

ゆずがいろいろいてきた。もうふゆのはじまり（ホンがでるころからいえば、キ

ヨネンのふゆ、イッサクネンまえのジュウイチガツである。)。どうするか あま
りかんがえていないが、まあ、ゆずスイ（ゆずジュースをみずでわったもの）●
『ア』ニジュウハチ」にするか。リヨウリにつかうのもいいだろう。ゆずの「す
（『す』ではないが）」のものと。つけものにもいいみたいだし。このゆずの
きは、ニネンまえにきられてきずついていたから（●『ア』ハチ、ニジュウハ
チ、ニヒヤクジュウロク） もうちよつとそつとしておこうとおもっている。

ジュウヨン

もう ふゆがちかい。ゆきおろしのヨウイもしようとおもう。（よくゆきがふる）
ゴウセツチタイでは あたりまえのようだが、わたしのいえのホウでやると、「え
っ」という かおをされる。しかし、おもみがあるのだから、おろしてやったホ
ウがアンシンだ。おとしにそれにきづいて、キョネンからやりはじめた。

イチバンやねにのぼりやすいところにシヨウコウグチをつくり、そこからキヤタツをつかつてやねにあがる。かといつてゆきるときにはおいそれとのぼらない、やねにのつても、とけたゆきですべてあぶないからだ。シヨウコウグチからゆきをおろしていく。

キヨネンはゆきおろしにニ、サンジカンかかった。でも、それでよしと。ことしのはるまえはゆきがすくなかったがことしはどうだろう。

ジュウゴ

ひとはこたえをとおくにみつれたりするが、アンガイみぢかなところにあつたりする。わたしはコウエンでねそべったりするのがすきだ。ところがわたしのいえのハウでは、そういうことのできるコウエンがないとおもっていた。だから、トウキョウトナイのコウエンまででかけていったものだ。しかし、サイ

キンになつて、いへのちかくにいいコウエンをみつけた。そこならジユウブンねそべられるし、カンタンなキユウギ（たまあそび）などでもできる。ニジユウネンくらいまえにそこはできた。そのころ、トウキヨウトナイのダイガクが、そのコウシャをトウキヨウコウガイにたてていた。そのときにはやっていたセツケイなのだろう。ひろびろしているのがトクチョウだ。わたしがかよつたダイガクもやっぱりそのころにコウガイにコウシャをつくつた。そこもひろびろしている（ちかごろはダイガクをトナイにシユウヤクしてたてるのがはやっているらしいが）。さすがにボコウにそうやすやすねそべりにいけないが、ちかくのコウエンならそれはできる。ことしは、ホンをよみにそこにいった。すずしいキセツにはカITEキなので、またいきたいとおもう。

ジユウロク

おととしぐらいから コンビニエンスストアで、コーヒーをうりだすようになった。アイスコーヒーも のめるし、よくできている。しかし、そんなにたかくないとはいえ、ナンバイものんでしまうと、ケツコウなキンガクになる。わたしもイチニチにゴハイとかのんでいたので、シユツピをへらそうとかんがえ、「むぎちや」をドウニユウした。むぎちやだとヒヤクエンでニジュウゴハイのめる。だからサイフも なんとか からはならず すんでいる。

ジュウシチ

ベツに「かみ(さま)」はヒテイしないが、わかいころは、なぜチキユウがまわっているかセツメイできなかつた(そのセツメイは、●『ア』ヒヤクロクジュウサン)。そういうバカになんかわるいことをふきこめば、いい(よくないが)キョウキになつていたかもしれない。だから、なんかをふきこまれても、

「わからない。」といい、わかるまでまつのがかしこいとおもう。たしかに、だれかにきけばおしえてもくれるだろうが、まあ、そのひとに「でしいる」するようなものだ。

ジュウハチ

そういえば、しばらく（ふででモジをかく）シュウジをしていない。ロク、シチネンまえ、「ジコシホンヒリツ（シヨウバイでの ジギョウシヤのシュツシヒリツ）をおおきくする」とかいたが、まあ、それはすこしづつタツセイしている。でも、ジをかくのは、レンシュウしなかつたのでへたなままだが。

ジュウク

むかし、「ブブンテキ（ゼンタイテキでなく）なへイワをみとめるか」とい
といをかながえていた。なんかおおきなことをかながえているからわか
いとおもうのだが、それぞれのドリヨクではないかといまはおもう。「ブ
ブンテキなへイワ」じゃなくて、「へイワシサン（ザイサン）」があると。そ
れぞれの「へイワシサン」をどうそれぞれがあつかおうがそれはキホ
ンテキにジユウであるうと。いつてみれば、「ジユウへイワシユギ」だ。
イチバンはじめにかながえたところは、しごととはコウムインが
いいのではとおもっていたりしたのだが。

ニジユウ

「なんでいきているのか」ととわれたとき、「なぜ」というイミなら、「
なにをかをたべるから」とこたえ、「なにが」「いきさせるのか」なら、「
ブツシツがうごけるから」とこたえる。そのこたえだと、もし、ブツシツが
うごかないよう

だったら、「いきられない」んだらう。たとえばまわりのオンドがひくいとか（それだとブツシツのジョウタイがコタイばかりになる）。そういうブツシツが「うごける」ジョウケンがあるからいきられると。

エキタイやキタイだとブツシツはうごけるカノウセイがある。だからタイヨウからとおいカセイより、スイセイ、キンセイのホウがセイブツはみつきりそうだとおもすが、そういう、エキタイセイブツとかキタイセイブツはソウテイガイなのだらうか。

ニジュウイチ

（セイジカをきめる）ミンシユセンキヨはシジョウ（とりひきがなされる）シユギでいいかもしれないが（タクサン「うれた」ひとがかつ）、イツテイスウの「コウバイ（というか）」にいたらない（「かわない」）ひとができてくる。そ

れでもなんかのセイトウをシジしてりやいい。どのコウホシヤもセイトウもシジできないとすれば、そのひとがリツコウホするのがダトウかとおもうが、ゲンジヨウのセンキョは、トウヒヨウにいかず、『センキョ』がないことにする」にトウヒヨウできるといふところがすごい。そういうひとたちがふえたらどうするのだらう。

ニジユウニ

はるにニラのはながさき、あきにはたねができていた。イチネンセイのシヨクブツつていうのはそんなものだらうか。しかし、モヤシははながさいたが、どうも「たね」はカクニンできていない。

ニジユウサン

「ジブンらしさ」をツイキユウするなら、いまのニホンでは「ニホンセイ」のたべものをたべるヒツヨウがあるかもしれない。モチロン、ニホンジンドウシのケンカもあるだろうが、すくなくとも「ニホンジン」であろう。もっと「ジブンらしく」なりたかったら、あなたはいえの にわにはえ、かつ、ほかのだれもたべていない くさでもたべるといい。それは、あなたしかたべないから、すなわち 「あなたらしい」。でも、フツウの「ジブンらしさ」をもとめるのだったら、ほかのひともたべているものをたべるだろう。あなたがジミントウシユギシヤだったら、「アメリカ）ガツシユウコクセイ」のたべものもたべていいのだとおもう（そのわけは、●『ア』ロクジユウサン、ヒヤクゴ、ヒヤクロク、ヒヤクゴジユウキユウ、ヒヤクロクジユウロク）。

ニジユウヨン

わたしがわかいころは、シツギヨウシヤみたいなかんじだったので、まあそれはそれでよかったが、いまは、シツギヨウしているとこまるので、「シツギヨウシヤのきるようなフク」はきていない（●『ア』ハチジュウニ）。ロックバンドのハダギ、ブランドロゴがはいったハダギ、スポーツものの、サーフケイのなど、いろいろきていたような気がする。でもいまは、ハダギでひとまえにでようととはとくにおもわない。

ニジュウゴ

やすうりヨウフクやがワダイになったりする。いまではセイサンだけでなく、ハンバイモウもカイガイでのぼしているとか。そのキョウゴウテンもふたつほどあるようだが。わたしのいえのちかくにそのみせがユウメイになるまえからテンポをかまえていたからそのヘンカがわかる。そのトウジはガツシユウ

コクサンのブランドヒンをまじえてうっていた。フクのいろづかいなどがジミなものやうにうっていたとおもう。そのみせがあかぬけてしまふのだからおもしろい。まあ、ドリヨクなのだろうが。

なんかいちノパン（ツ）をかいにいった。ベンリなようだが、そのみせのおかげで、ニホンセイとかガツシユウコクセイのフクをかいづらくなつた（チュウゴクセイのやすいフクがうれるからそのたのフクをあつかわなくなつた）つていうのはかんがえものである。

ニジュウロク

リサイクルのツゴウでゴミをブンベツしなければいけない。とはいつてもゴミはこはひとつだから、しようがなくゴミぶくろにまとめたりする。ゴミばこをふたつにすればカイシヨウされるモンダイであるが、ふたつもおくとあき

クウカンがなくなってくる。いいカイケツホウをさぐっている。ゴミばこをたてにチョコレツにおくとか。

ニジユウシチ

パソコンのあたらしいソフトがでた。サンネンにイツカイぐらいあたらしいものがでるから、サンネンぶりといったところだろう。わたしのパソコンでもそのあたらしいソフトはつかえるらしいが、そのほかのソフトをサイシンバンにしないといけないとなるとちよつとまってくれといたくなってしまう。もつともよくつかうソフトはふるいものだから、ふるいパソコンでうごかしているのだが。そういうカンテンからいうと、サイシンバンをドウニユウしてしまってもいいのかもしれない。むかしのパソコンはたびたびエラーがおきていたがそのテンはカイゼンされているからいいとおもう。

ニジユウハチ

ことはなつに コウコウヤキュウをみにいった。キュウジツだとケッコウなキヤクいりだ。しあいにかちつづけると いわゆる「コウシエン」にいけるのだが、わたしのボコウは そこまでかちつづけられなかった。いいセンまではいっただが。

ニジユウキユウ

パソコンをもちあるくのはケッコウなロウリヨクである。そこで もちはこばないですむ ジブンのパソコンというのをキカクした。パソコンは なかの クドウキロクソウチをつかってキドウする。そのクドウキロクソウチを そとづけにして、そのなかに、キノウのゼンブをいれてしまい、そのソウチだけを もちは

こぶようにかんがえた。しかし、ためしてみると、そとづけクドウキロクソウチからのキドウはできなかつた。ベンリかとはおもうが、ソフトウェアがうれなくなるからか。

サンジユウ

フロイドセンセイ（セイシンブンセキをはじめたイシ）は、「ファルス」についてかたつたとされるが、そのリロンをオウヨウするようにとあるセイヒンができてゐる。ニホンでは、「おとなのおもちゃ」といわれるが、タブン、フロイドセンセイのコウセキだろう（●『ア』ヒヤクジユウサン）。

サンジユウイチ

こどものころ よくテレビゲームをやっていた。こどものシセンからいうと「おもしろい」から そうモンクはないのだが（モチロン つまらないゲームもあった。）あるテイド としがたってみると、よくだれかのシヨウバイにのっていたともおもう。ゴセンエンとかすると こどもにとっては やすいキンガクではない。シヨセン、あるガメンに えがでる あそびだ。そのガメンに ヒヨウジされたナイヨウと ジツサイのセイカツとは なにもカンレンがない。そんなあそびをよくやっていたとおもう。たまにはいいかもしれないが、「ゲンソウ」から ときはなされたのに また「ゲンソウ」にかかわろうとはおもわない。「シヨウギ」ゲームとかならないが。

サンジユウニ

あるマンガ（アニメ）に でてくる あるひとがたの キョダイな セントウヨウ

のキカイは、ゲンダイの「ブツゾウ」といってもよいくらい ニンキがあつたりする。ジツサイそのおおきなモケイが、トウキョウのリンカイブでコウカイされたらしい。それが、ニューヨークにあるおおきなゾウをちいさくフクセイしたゾウのちかくにおかれたものだから おもしろい（ニューヨークのゾウも「ブツゾウ」かもしれない）。

そのキカイのモケイをみに えらくひとがあつまつたらしい。ほんもののブツゾウはみにいくひとはいるが、マンガででてくるなにかのように、「コスプレ（フンソウ）」をするひとはいないようだ。それなりにシジをあつめられるとおもうが、ほんもののブツゾウを「かたれる」ほどのキョウヨウがないのだらう。わたしだつてないが。

サンジュウサン

デンチシキの ワープロはないみたいだが、デンチシキの にたようなものをハッケンした。ポケットピースである（●『ア』ヒヤクハチジュウロク）。カンデンチでうごき、インサツはできないが、ブンシヨサクセイや ヒヨウケイサンができる。そういうのをみつけたので かってつかいはじめた。パソコンだと、シリョウをかたてにうちこむのはタイヘンだが、ポケットピースだと、シリョウをカイのしたにおいて うちこめばいい。わたしはこれがきにいつて、ブンのうちこみなどは これをつかっている。サイキンは こういうのをつくっていないようだが。

サンジュウヨン

ジカンを「エル（アルファベット）（ロコモータータイプ）」ではかるとしたら、キオンが とつともなくひくくなれば、セイブツはウインドウが（つまり、キタイ、

エキタイがトウケツして) テイシされるだろうから、いきられない(●『ア』ヒヤクジュウゴ、●ホンシヨ【イカムヒヨウキ】ニジュウ) というか ジカンがそのコタイについてはながれない。だから、ニンゲンは(いきられる) うごける、つまり「エル」であるが、きびしいジヨウケンでは「エル」にはならない。

ニンゲンのイツシヨウをかりに「エル」とすると、そのナイヨウは、ニジュウヨン(ジカン) かける サンビヤクロクジュウゴ(ニチ) かける ハチジュウ(ネン)になる。ケイサンすると、ナナジュウマンハツピヤクである。このスウジを、ウンドウのおそいジヨウケンでかんがえてみる。たとえば、ハチわりのはやさだつたら(さむいところなどで)、「エル」はドウイツジヨウケンとしてかわらない(ウンドウのソウリヨウはかわらない) が、ソウリヨウが ナナジュウマンハツピヤクとしても、そのウンドウ(ソウリヨウ)をカンリヨウするのに、ハチジュウナナマンロクセン(ヒヤクサイ) かかることになる。つまり、テイオンでセイゾンしたほうが、ウンドウのソウリヨウはかわらないとしても、ニジュツサイな

がくいきられるカノウセイがある。つまり、さむいくにのホウが、ながくいきられるということである（ジツサイ みなみのくにより キタのくにのホウが ながいきである。）。

サンジュウゴ

「プロ」ということばも ガイコクから はいってきたとおもう。「プロフェツ ショナル」というイミがおおいとおもわれるが、「プロテスタント」かもしれないし、「プログレッシブ」かもしれない。だから、「あなた『プロ』でしょ」とかいわれて ウカツにこたえたと、「あいつは ハンタイハだ。」とかいわれかねない。よくイミをカクニンして こたえなければならぬ。それか『ニュートラル』で「す」とかいいばいい。

サンジユウロク

あるトシのことを「ニューヨーク」という。そうか「あたらしい」から「ニューヨーク」だ。じゃあ「ふるい」「ヨーク」もどこかにあるのだろう。そうやってレキシをまなんでいく。

サンジユウシチ

アンガイ、なんかのギロンってサイゴまで大きくヒツヨウはないかもしれない。ギロンしているサイチュウのおもしろいロンテンだけハイシヤクしてしごとにもどるのがいいかもしれない。ニンゲンひとりではやることはかぎられているのだから。イッコケツカをだしたらまたギロンをきくとか。ずっと「ギロン」しているひとはすごいとおもうけど。

サンジユウハチ

セイジカがまるばつセンセイのセツをインヨウしてかたつたけど、まるばつセンセイはそれはちがうといいはじめることもあるだろう。そうすると、トウヒヨウシヤからの「シジ」がわるくなるから、セイジカはむかしのことばとか、しんでしまったひとがセイゼンいつていたことをいえばアンゼンだ（●『ア』ニヒヤクニジユウキユウ）。しかし、そこに、「レイコン（たましい）のフメツ（なかならない）」みたいなかんがえがドウニユウされると、そういうこともいえない（レイコンにヒテイされてしまうからだ）。そうすると、ゴジブンのことばで、いいはじめるのだろうか。そのホウがセイジカのシツがよくなるような、すくなくともセキニンテンカはできなくなる。そういうわけで、セイジカのシツをあげたきや「レイコンのフメツ」をドウニユウすればよい。

サンジユウキュウ

サイキン、ホンだなのセイリをして、なにもないという「クウゲン（からっぽというシゲン）」「●『ア』ニヒヤクニジユウキュウ」をカクホした。でも、それではちょっとヨユウができただけなので、ほかのホンをかっていれてしまえばすぐにうまってしまう。だから、からっぽのホン（ホンがたのノート）でもかってこようかと おもっている。そのなかみをかきこんでいけば、「ホン」になる。もうふたつほどシツピツがきまつているので、からのホンをふたつつくればい。そうやってジブンのホンがホンだなにはいっていく。

ヨンジユウ

「あたらしい シホンシユギ」というのもあるのだろう（ジツはふるい「シホ

ンシユギ」かもしれない)。ある「(みどりのはっぱをもつ)き」がおしえてくれた。しかし、ニンゲンが(わたしが) そのあたらしいシホンシユギになれないために、むかしながらの(イツパンテキな)シホンシユギにあらうように チョウセイしようとしたりする(●『ア』ニジュウキュウ、ニヒヤクジュウニ)。

「あたらしいシホンシユギ」とはなんだろう。としよりが かねをもつ というのはかわらないが、ちいさいこどもも ゲンキというかんじのものだ。としをとると ネンキンがもらえて さらにゆたかになる というのは セイドをかえなにかぎり かわらないが、ちいさいこどもが こづかいをもらってかそれなりに ハンエイする というものだ。たしかに「こどもてあて」というのはある。そういうのをつかって、こどもがジブンのポケットマネーで ガクヒをはらったり、シヨクヒをはらったりということも そうかもしれない。ただ、ニホンジンのばあい、あまりこどもをダイジにしないブンカがあるらしいから、むずかしいだろう。

ヨンジユウイチ

「かんがえる」とよくいうがそれはアンガイ かなしいことばかもしれない。「カン」がえられたのであるが、それを「かえて」しまうということでないか。だから、「かんどおり」とか「かんすすめ」とかだったら かなしくないのではないだろうか。

ヨンジユウニ

ストーリーという。これには「ものがたり」というイにくわえて（●『ア』ニヒヤクサンジュウゴ）、「(たてものたかさによる)カイ」というイがある。だから、あるカイソウでのまとまりというガンイがあるのだろう。だから、そのひとにあわないストーリーがある。デパートでかんがえれば、サンカイのフジンプ

クうりばはわたしにはあわないとかだ。デパートでなくても、とくにカイキュウシユギなら（ニホンではイチオクソウチュウリユウといわれるが）、それぞれのはなしをもつだろう。だから、ガイコクセイの コウキュウヒンというのはシヨミンテキではないストーリーをもつのだろう。イチジキやたらと コウキュウヒンをかうニホンジンがいたらしいが、まあタシヨウそういうストーリーにふれることはできても、ほかのコーデイネートができていなかったのではともう。

ヨンジユウサン

コウジヨウなんかではニジュウヨジカンソウギヨウをしている。なぜはじめたかはセイカクにはわからないが、コキヤクにはやくセイヒンをとどけたいからとかキカイをレンゾクでつかいつづけたいからとかなんだろう。そうすると

シンヤにはたらく ニンゲンも ヒツヨウになる。そういうひとがいないと ニジユウジカンソウギョウはなりたない。シヨウテンも ニジユウジカンエイギョウをしていたりする。いつでも かいにいけるので ベンリだ。しかし、なぜ ニジユウジカンガッコウがないのか。ニジユウジカンソウギョウや ニジユウジカンエイギョウのキギョウではたらくロウドウシヤが いるはずなのに。かんがえてみれば、シンヤにあつまるシヨウニンズウをあいてに ジュギョウをやるのはヒコウリツである。だからそういう ジュヨウは、オンライン（ツウシン）がみたすのであろう。

ヨンジユウヨン

「レイセン」とかいったりする。まあ、ケイヨウテキなことばかもしれないが、ジッサイにそうなると やっぱりさむいのだろう。ニセンジユウニネンのふゆは

さむかった。あるところでは、その時のアニメエイガができるほどさむかったのだろう。ただ、ニジュウネンほどまえ、「ロウドウカンレイキ」みたいなことばがあった。いうホウはあまりきにしないようだが（わたしもおなじことをしているカノウセイがある。）、そのことばをブンカイして、「カンレイキ」になったらまらないとおもう。どうしてそういうことをいうのかであるが。たまにそういうひどいことばにでくわす。

ヨンジュウゴ

「デザート」とはむかしよくきいたものだ。しかし、サイキンはそのてのものを「スウィーツ」というようだ。たしかにそのホウがセイカクなようなきがある。イッタイいまではなにも「デザート」というのである。 「デザート」は「コウロウ（よいつとめ）」というイミがある。あまいカシなどは、まったくひ

とのシヨクヨクをみたす「コウロウ」をするものであり、またそれをシヨクするひとも「コウロウ」をなせしものがふさわしいであろう。たいしていいこともしないのに、あまいものにくらいつくというのがいまのリユウコウで、それなら「スウィーツ」にしよう とだれかがかんがえたのではないか。

ヨンジュウロク

きずついたゆずがみをつけた（●ジュウサン、『ア』ハチ、ニジュウハチ、ニヒヤクジュウロク）。キヨネンもわずかになつたのだが。みをとつてテキトウにきつてみずにいれた。イチネンハンぶりのゆずスイ（●ジュウサン、『ア』ニジュウハチ）。ちいさいみでつくったときはほんのあっさりあじだったが、いろづいてからのケツコウあじがする。ほんのひとときでもあじがする。いまのところふたきれでつくっているからまだまだたのしめる。

ヨンジユウシチ

たべものをくちにいれるとイにおちる。そこからシヨウカされるといのがフツウだ。もし、ニンゲンがさかだちをしてセイカツするようになったらどうなるか。たぶん「おもき」のモンダイで、くちからたべものをいれても、イのホウにいかないのではないか。じゃあどうすればいいか。フツウにくらししているばあいとギャクのながれをかんがえればよいのでは。ただそうすると、タイナイをとおってきたたべものをサイゴにあじわうことになる。それで、くちからだされるたべものは「うんこ」とギャクのながれだから、「こんう」ということにする。それをだすまえにあじわうのはゴウモンのような気がする。ニンゲンには（ニンゲンだけではないとおもうが）できにくいこともある。タブンできなくはないがやらないのだろう。

ヨンジユウハチ

「サバサバ」している というのもとはガイコクゴでないか。フランスゴに
そういうことばがある。「ゲンキゲンキ」している というヤクになる。やっぱり
エドジダイとかにはいつてきたのだろうか。

ヨンジユウキユウ

キユウジユウネンダイ、レイネンダイに「セルフサーブ」のみせがふえてきた。
ちよつとしたシヨクドウにはいると いくらかでのみものを「セルフサーブ」す
ることができるといふメニューを えることがおおくなった。「セルフサー
ブ」により テンインのロウリヨクがへり、カカクもやすくおさえられるのだろ
う。そのメニューがはじまるまえより イツパイのカカクはやすくなったとおも

う。ただ、テンインにもつてきてもらいたいときもあるので、センタクできるといいとおもう。

カテイでだすごみのブンベツも「セルフサーブ」になった。ゴミシヨリヒがやすくなったというはなしはきかないが、そのブンやすくなっているのだろう。（ロウゴの）ネンキンなんかも「セルフサーブ」にしたらうけとるブンがふえるか、ギョウセイのヒヨウがへるかもしれない（カクテイキョシユツガタのネンキンがあるが）。イリョウホケンもそうだ。ただ、ロウドウリヨクかおかねをださなきやならないが。

ゴジユウ

「センギョウシユフ」がへつているときく。そうすると、カジをするジカンがすくなくなるだろうから、「カジ」のシツやリョウがおちるとかんがえられる。

また、ガイチュウをするようになるだろう。カセイフをやとうということではなく、ソウザイをつくらずかっってきたり、こどもをどこかにあずけたりというようである。そうやってやくわりのセンモンカがすすみ、カゾクのやくわりはおかねをかせぐだけになるかもしれない。

むしのツゴウ ニンゲンのツゴウ シドクバン

エイゾウ

ニセンジュウシチネンニガツココノカ

ニセンニジュウニネンシチガツジュウナナニチ

iii toga db002-4

エイチテイテイピーコロンスラツシユスラツシユアイアイアイテイオージーエ
ーピリオドショーオーエム

テイエスユーエスエイチアイエヌアットマークアイアイアイテイオージーエー
ピリオドショーオーエム

